

FMP Club / スクマネジト

平成 19 年 8 月 20 日発行 FMP Club 編集責任者 ファイナンシャル・プランナー 小澤昭彦

団塊の世代の方々が退職時期(60 歳)を迎え、退職金に対する税金や再雇用時の年金カットの問題などを今回は考えてみましょう。

退職金手取額と税額早見表

退職所得控除の速算表

* 勤続1年未満の端数は1年に切り上げる

20年以下	勤続年数 × 40万円 (最低80万円)
20年 超	800万円 + 70万円 × (勤続年数 - 20年) または 70万円 × 勤続年数 - 600万円

早見表

(単位：万円)

退職金	勤続年数	20年	22年	24年	26年	28年	30年	32年	34年	36年	38年	40年
1,000万円	手取額	985.5	995.7									
	税金	14.5	4.3									
1,100万円	手取額	1,078.3	1,088.4	1,098.6								
	税金	21.7	11.6	1.4								
1,200万円	手取額	1,171.0	1,181.2	1,191.3								
	税金	29.0	18.8	8.7								
1,300万円	手取額	1,261.5	1,273.9	1,284.1	1,294.2							
	税金	38.5	26.1	15.9	5.8							
1,400万円	手取額	1,352.0	1,365.3	1,376.8	1,387.0	1,397.1						
	税金	48.0	34.7	23.2	13.0	2.9						
1,500万円	手取額	1,440.5	1,455.8	1,469.1	1,479.7	1,489.9						
	税金	59.5	44.2	30.9	20.3	10.1						
1,600万円	手取額	1,526.0	1,546.3	1,559.6	1,572.5	1,582.6	1,592.8					
	税金	74.0	53.7	40.4	27.5	17.4	7.2					
1,700万円	手取額	1,611.5	1,631.8	1,650.1	1,663.4	1,675.4	1,685.5	1,695.7				
	税金	88.5	68.2	49.9	36.6	24.6	14.5	4.3				
1,800万円	手取額	1,697.0	1,717.3	1,737.6	1,753.9	1,767.2	1,778.3	1,788.4	1,798.6			
	税金	103.0	82.7	62.4	46.1	32.8	21.7	11.6	1.4			
1,900万円	手取額	1,782.5	1,802.8	1,823.1	1,843.4	1,857.7	1,871.0	1,881.2	1,891.3			
	税金	117.5	97.2	76.9	56.6	42.3	29.0	18.8	8.7			
2,000万円	手取額	1,868.0	1,888.3	1,908.6	1,928.9	1,948.2	1,961.5	1,973.9	1,984.1	1,994.2		
	税金	132.0	111.7	91.4	71.1	51.8	38.5	26.1	15.9	5.8		
2,100万円	手取額	1,953.5	1,973.8	1,994.1	2,014.4	2,034.7	2,052.0	2,065.3	2,076.8	2,087.0	2,097.1	
	税金	146.5	126.2	105.9	85.6	65.3	48.0	34.7	23.2	13.0	2.9	
2,200万円	手取額	2,039.0	2,059.3	2,079.6	2,099.9	2,120.2	2,140.5	2,155.8	2,169.1	2,179.7	2,189.9	
	税金	161.0	140.7	120.4	100.1	79.8	59.5	44.2	30.9	20.3	10.1	
2,300万円	手取額	2,123.2	2,144.8	2,165.1	2,185.4	2,205.7	2,226.0	2,246.3	2,259.6	2,272.5	2,282.6	2,292.8
	税金	176.8	155.2	134.9	114.6	94.3	74.0	53.7	40.4	27.5	17.4	7.2
2,400万円	手取額	2,207.3	2,229.5	2,250.6	2,270.9	2,291.2	2,311.5	2,331.8	2,350.1	2,363.4	2,375.4	2,385.5
	税金	192.7	170.5	149.4	129.1	108.8	88.5	68.2	49.9	36.6	24.6	14.5
2,500万円	手取額	2,291.5	2,313.7	2,335.9	2,356.4	2,376.7	2,397.0	2,417.3	2,437.6	2,453.9	2,467.2	2,478.3
	税金	208.5	186.3	164.1	143.6	123.3	103.0	82.7	62.4	46.1	32.8	21.7
2,600万円	手取額	2,375.6	2,397.8	2,420.0	2,441.9	2,462.2	2,482.5	2,502.8	2,523.1	2,543.4	2,557.7	2,571.0
	税金	224.4	202.2	180.0	158.1	137.8	117.5	97.2	76.9	56.6	42.3	29.0
2,700万円	手取額	2,454.8	2,482.0	2,504.2	2,526.4	2,547.7	2,568.0	2,588.3	2,608.6	2,628.9	2,648.2	2,661.5
	税金	245.2	218.0	195.8	173.6	152.3	132.0	111.7	91.4	71.1	51.8	38.5
2,800万円	手取額	2,533.9	2,563.1	2,588.3	2,610.5	2,632.7	2,653.5	2,673.8	2,694.1	2,714.4	2,734.7	2,752.0
	税金	266.1	236.9	211.7	189.5	167.3	146.5	126.2	105.9	85.6	65.3	48.0
2,900万円	手取額	2,613.1	2,642.3	2,671.5	2,694.7	2,716.9	2,739.0	2,759.3	2,779.6	2,799.9	2,820.2	2,840.5
	税金	286.9	257.7	228.5	205.3	183.1	161.0	140.7	120.4	100.1	79.8	59.5
3,000万円	手取額	2,692.2	2,721.4	2,750.6	2,778.8	2,801.0	2,823.2	2,844.8	2,865.1	2,885.4	2,905.7	2,926.0
	税金	307.8	278.6	249.4	221.2	199.0	176.8	155.2	134.9	114.6	94.3	74.0
3,100万円	手取額	2,771.4	2,800.6	2,829.8	2,859.0	2,885.2	2,907.3	2,929.5	2,950.6	2,970.9	2,991.2	3,011.5
	税金	328.6	299.4	270.2	241.0	214.8	192.7	170.5	149.4	129.1	108.8	88.5
3,200万円	手取額	2,850.5	2,879.7	2,908.9	2,938.1	2,967.3	2,991.5	3,013.7	3,035.9	3,056.4	3,076.7	3,097.0
	税金	349.5	320.3	291.1	261.9	232.7	208.5	186.3	164.1	143.6	123.3	103.0
3,300万円	手取額	2,929.7	2,958.9	2,988.1	3,017.3	3,046.5	3,075.6	3,097.8	3,120.0	3,141.9	3,162.2	3,182.5
	税金	370.3	341.1	311.9	282.7	253.5	224.4	202.2	180.0	158.1	137.8	117.5
3,400万円	手取額	3,008.8	3,038.0	3,067.2	3,096.4	3,125.6	3,154.8	3,182.0	3,204.2	3,226.4	3,247.7	3,268.0
	税金	391.2	362.0	332.8	303.6	274.4	245.2	218.0	195.8	173.6	152.3	132.0



在職老齢年金早見表

(60歳代前半)

平成17年4月から、年金額の2割を支給停止する仕組みが廃止されます

総報酬月額相当額

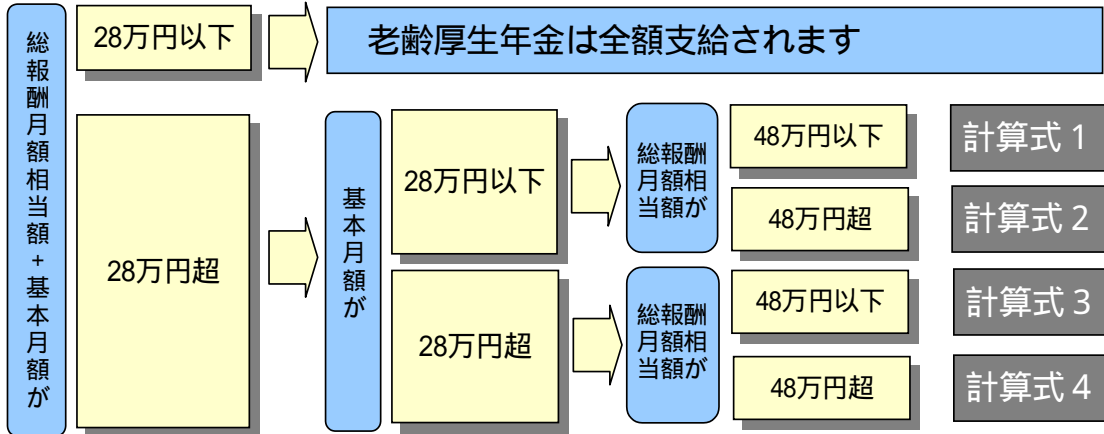
= その月の標準報酬月額 + 賞与額() ÷ 12

賞与額 = その月以前の1年間の標準賞与額の合計額

基本月額

= 老齢厚生年金の年金額 ÷ 12

(加給年金額は除きます)



1ヶ月当たり支給停止額の計算式

計算式1	$(\text{総報酬月額相当額} + \text{基本月額} - 28\text{万円}) \times 1/2$
計算式2	$(48\text{万円} + \text{基本月額} - 28\text{万円}) \times 1/2 + \text{総報酬月額相当額} - 48\text{万円}$
計算式3	$\text{総報酬月額相当額} \times 1/2$
計算式4	$(48\text{万円} \times 1/2) + (\text{総報酬月額相当額} - 48\text{万円})$

60歳代前半の在職老齢年金

年金月額		総報酬月額相当額 (単位: 万円)															
		9.8	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54
3万円	支給停止額	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	年金受給額	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6万円	支給停止額	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.5	4.0	5.5	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	年金受給額	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	3.5	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9万円	支給停止額	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.5	4.0	5.5	7.0	8.5	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
	年金受給額	9.0	9.0	9.0	9.0	8.0	6.5	5.0	3.5	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12万円	支給停止額	0.0	0.0	0.0	1.0	2.5	4.0	5.5	7.0	8.5	10.0	11.5	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
	年金受給額	12.0	12.0	12.0	11.0	9.5	8.0	6.5	5.0	3.5	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15万円	支給停止額	0.0	0.0	1.0	2.5	4.0	5.5	7.0	8.5	10.0	11.5	13.0	14.5	15.0	15.0	15.0	15.0
	年金受給額	15.0	15.0	14.0	12.5	11.0	9.5	8.0	6.5	5.0	3.5	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
18万円	支給停止額	0.0	1.0	2.5	4.0	5.5	7.0	8.5	10.0	11.5	13.0	14.5	16.0	17.5	18.0	18.0	18.0
	年金受給額	18.0	17.0	15.5	14.0	12.5	11.0	9.5	8.0	6.5	5.0	3.5	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0
21万円	支給停止額	1.4	2.5	4.0	5.5	7.0	8.5	10.0	11.5	13.0	14.5	16.0	17.5	19.0	20.5	21.0	21.0
	年金受給額	19.6	18.5	17.0	15.5	14.0	12.5	11.0	9.5	8.0	6.5	5.0	3.5	2.0	0.5	0.0	0.0
24万円	支給停止額	2.9	4.0	5.5	7.0	8.5	10.0	11.5	13.0	14.5	16.0	17.5	19.0	20.5	22.0	24.0	24.0
	年金受給額	21.1	20.0	18.5	17.0	15.5	14.0	12.5	11.0	9.5	8.0	6.5	5.0	3.5	2.0	0.0	0.0
27万円	支給停止額	4.4	5.5	7.0	8.5	10.0	11.5	13.0	14.5	16.0	17.5	19.0	20.5	22.0	23.5	26.5	27.0
	年金受給額	22.6	21.5	20.0	18.5	17.0	15.5	14.0	12.5	11.0	9.5	8.0	6.5	5.0	3.5	0.5	0.0
30万円	支給停止額	4.9	6.0	7.5	9.0	10.5	12.0	13.5	15.0	16.5	18.0	19.5	21.0	22.5	24.0	27.0	30.0
	年金受給額	25.1	24.0	22.5	21.0	19.5	18.0	16.5	15.0	13.5	12.0	10.5	9.0	7.5	6.0	3.0	0.0

雇用保険・高年齢雇用継続基本給付金



高年齢雇用継続基本給付金は、60歳以降、基本手当等を受給することなく継続して働き続けるとき、65歳に達する月まで最大5年間支給されます

- ・受給資格.....60歳以上65歳未満の雇用保険一般被保険者であること
(短時間労働被保険者を含みます)
60歳到達の時点で被保険者であった期間が5年以上あること
(5年に満たない場合は5年に達した日が60歳到達時とみなす)
- ・支給要件.....60歳到達時賃金月額に比べ、賃金額が75%未満に低下した時
- ・支給率.....支給対象月の賃金の最高15%
- ・支給限度額...340,733円(支給額と支給対象月の賃金合計額)
- ・最低限度額...支給額が1,664円以下は支給されません
- ・60歳到達時賃金月額.....上限、453,900円 下限、62,400円
- ・平成18年8月1日改正

高年齢雇用継続給付金の額

賃金割合が 61%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・賃金割合 = その月の賃金 ÷ 60歳到達時賃金月額 × 100 ・支給額 = その月の賃金 × 15%
賃金割合が 61%以上 75%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・賃金割合(A) = その月の賃金 ÷ 60歳到達時賃金月額 × 100 ・支給率 = $(-183 \times A + 13,725) \div 280 \times (100 \div A)$ ・支給額 = その月の賃金 × 支給率
支給額とその月の 賃金額との合計が 340,733円を超え る場合	<ul style="list-style-type: none"> ・支給額 = 支給限度額(340,733円) - その月の賃金額

高年齢雇用継続給付金を受給した場合に在職老齢年金から支給停止される額

標準報酬月額が 60歳時賃金月額の 61%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・賃金割合 = 標準報酬月額 ÷ 60歳到達時賃金月額 × 100 ・調整額 = 標準報酬月額 × 0.06
標準報酬月額が 60歳時賃金月額の 61%以上 75%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・賃金割合(A) = 標準報酬月額 ÷ 60歳到達時賃金月額 × 100 ・年金停止率 = $(-183 \times A + 13,725) \div 280 \times (100 \div A) \times 0.4$ ・調整額 = 標準報酬月額 × 支給停止率
標準報酬月額と高 年齢雇用継続給付 の合計が340,733 円を超える場合	<ul style="list-style-type: none"> ・調整額 = (支給限度額(340,733円) - 標準報酬月額) × 0.4

高年齢雇用継続給付金の支給率等は平成15年5月1日施行の雇用保険法によります。
平成15年4月以前に高年齢雇用継続給付の受給資格を取得した場合、改正前の低下率・支給率等が適用されます

60歳で定年後、継続して働く場合の収入例

継続雇用制度により60歳で定年を迎えた後も継続して働く場合、定年前に比べ給与が大幅にダウンするのが一般的ですが、給与以外に雇用保険から「高年齢雇用継続基本給付金」が支給されたり、在職老齢年金を受け取ることができるうえに天引きされる税・社会保険料が少なくなるため、給与が大幅にダウンした割には毎月の手取額はそんなに少くなりません。
ただし、定年前に支払われた賞与の額が在職老齢年金の計算に影響するため、最後に受け取った賞与月から1年間は受け取れる年金額が少なくなります。

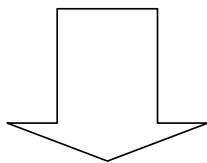
それでは具体的な事例で60歳以後の収入を検証してみましょう。

定年退職月	9月		
定年前の給与	390,000円	他に通勤手当	10,000円
定年前の賞与	7月 680,000円	12月	680,000円
60歳以後の特別支給の老齢厚生年金額(報酬比例部分)	1,100,000円		
定年退職月の翌月(10月)より再雇用されるものとします。			
60歳以後の給与	190,000円	他に通勤手当	10,000円 賞与 夏:238,000円 冬:238,000円

*数値はすべて月額で表示しています

	給与(月額)	+	在職老齢年金	+	雇用継続給付金	=	合計収入
10月	190,000円		17,167円		30,000円		237,167円 プラス 通勤手当
11月	190,000円		17,167円		30,000円		237,167円
12月	190,000円		35,583円		30,000円		255,583円
1月	190,000円		35,583円		30,000円		255,583円
2月	190,000円		35,583円		30,000円		255,583円
3月	190,000円		35,583円		30,000円		255,583円
4月	190,000円		35,583円		30,000円		255,583円
5月	190,000円		35,583円		30,000円		255,583円
6月	190,000円		35,583円		30,000円		255,583円
7月以降	190,000円		54,000円		30,000円		274,000円 プラス 通勤手当

7月と12月に賞与がそれぞれ238,000円支給されます。



以後は65歳になるまで同額となります

上記は12月、7月に賞与を受取り、9月に定年を迎えた場合の例です。
賞与月や退職月、あるいは賞与の額により在職老齢年金は変化します。
在職老齢年金の計算方法については資料 をご覧ください。